

関東物流センター

倉庫の中はどうなってるの？



ナイスグループの埼玉県西部の拠点となる関東物流センター。建物面積が約3千㎡、高さが約9mのこの大きな施設は、木材、建材などの倉庫として建築されました。



◆ 合板は直接ホームセンターに出荷しています ◆

建築用資材のほかに、ホームセンターなどでよく目にする合板も保管されています。合板は、ホームセンターの店頭そのまま並べられる状態で出荷を待ちます。



◆ 一戸建て住宅の建築に必要な材料がそろっています。 ◆

倉庫内には、木材を中心に一戸建て住宅を建築するために必要な資材が揃っています。エアコンやトイレなど、建築時に設置する家電製品や衛生設備なども合わせて保管されています。

センター所長に

インタビュー

Q..越生町に倉庫を構えることになったきっかけは何ですか？

A..以前、当グループの拠点としていた上尾市の「埼玉木材営業所」に代わる拠点となる地域を探していたところ、越生町の職員から声をかけていただいたことがきっかけで、越生町に当社の拠点を構えることに決定しました。

Q..貴社から見て越生町はどんなところですか？

A..越生町からは圏央道や関越道に30分程度で入れます。ナイスグループは、圏央道の周辺に拠点を置くことで関東の物流の円滑化を図っているため、この立地条件はとても魅力的です。

Q..関東物流センターの事業エリアは？

A..埼玉県西部を中心に群馬県や、西東京への事業展開まで見込んだ物流の拠点という位置づけの倉庫です。埼玉県東部には、越谷に倉庫を構えているので、東西二つの拠点から埼玉県とその周辺に事業

こんな仕事しています



資材の入荷・検品

倉庫の業務は入荷・検品、積み荷づくり、出荷・検品の3工程に分かれています。

午前中から昼過ぎにかけては、主に入荷・検品業務を行っています。資材には、長くて大きなものから細かいもの、家電製品や海外から運ばれてくるものなど、様々なものがあります。



(商品係リーダー) 吉村さん
(営業所長) 大戸さん

ナイスグループの埼玉県西部の物流の拠点として操業を始めたこの関東物流センターでは、現在、私たちを含め13人の従業員が働いています。ここでは、このセンター内で実際にどんな仕事をしているかを紹介합니다。



出荷

1日約10台の車両に積み荷を積み込みます。出荷のタイミングは、午前中から昼過ぎごろまでと夕方の時間帯に集中します。



積み荷づくり

出荷に向けて荷造りをします。一回の出荷時に積み込むものをあらかじめまとめておくことで、出荷をスムーズにします。

を展開していきます。

Q..関東物流センターの今後の操業については？

A..この倉庫は2月12日から操業が始まりましたが、現在扱っている資材は、当初から予定しているものの一部にすぎません。これから徐々に扱う資材を増やしていき、本格稼働していきます。

Q..越生町の皆さんに一言お願いします。

A..私たちは、住生活産業を通じて皆さんの安全・安心な生活に貢献できるように事業に取り組んでいます。私たちの仕事に皆さんに直接関わることは多くないと思いますが、早く地域になじめますよう努力してまいりますので、どうぞよろしく願います。



ナイス物流株式会社
関東物流センター所長
寺岡さん